

講義名	知的財産管理論			授業形態	
担当教員	河野 総史	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
			ナンバリング・コード	MKT381	

主題と概要

知的財産法に関する多数の法律のうち、特に特許法と著作権法を中心に学び、知的財産を保護することの重要性を理解する。

到達目標

特許法と著作権法を中心とした知的財産法の制度を学ぶことにより、知的財産保護の重要性を理解できるようにする。

提出課題

毎回小テスト（講義の理解度チェック）を実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

小テストについては、次の講義回で講評を行う。

評価の基準

小テスト20点、期末試験80点の、合計100点満点とし、60点以上を合格とする。
小テストも期末試験も、教科書やレジュメの持ち込み有りとする。

履修にあたっての注意・助言他

本講義の目的は知的財産を保護することの重要性を理解することであり、知的財産に関する法律の細かな知識を習得することを目的としているわけではない。気負わず、楽しみつつ、知的財産の世界の面白さに触れて欲しい。

教科書	.いちばんやさしい知的財産法入門。	今村哲也	有斐閣	2310	9784641244006
-----	-------------------	------	-----	------	---------------

参考図書

.なし。

その他

講義レジュメを配布する。

授業計画

- 第1回 講義イントロダクション 知的財産とは
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第2回 特許法 発明該当性
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第3回 特許法 特許要件
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第4回 特許法 権利の主体
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第5回 特許法 出願・審査
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第6回 特許法 権利の活用・存続期間
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第7回 著作権法 著作物性
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第8回 著作権法 権利の主体
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第9回 著作権法 著作権の内容
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第10回 著作権法 著作権の制限
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第11回 意匠法
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第12回 商標法 商標権の内容
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第13回 商標法 商標権をめぐる争い
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第14回 不正競争防止法
予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分）
復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分）
- 第15回 総まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学商学部経営学科のディプロマポリシーの、「企業マネジメントに関する問題探求、課題提案ができる。」人材を育成することを念頭に講義を実施する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

事例（判例）を題材に、適宜グループワークをしてみよう予定である。

実務経験の有無及び活用

備考

30分以上の遅刻は欠席扱いとなりますので注意して下さい。